

2016年

八王子市民放射能測定室「ハカルワカル広場」

総会報告

総会議事録

日 時： 2016. 2. 6(土) 10時から12時まで

場 所： ハカルワカル広場

出席者数： 31名

出席者氏名 省略

【議事】

全体司会 仲野敦子

1. 開会挨拶 (西田)

開設から4年が経ちました。測定依頼は月に30件という減少ぶりですが、これからも初心を忘れず、測定活動を末永く継続していきます。次々と新しい企画にも挑戦しています。「微量放射能漏れ監視プロジェクト」をモニターの協力で始めました。また、浜岡原発見学ツアーも現地の方の協力で実施しました。ハカルワカル映画会では「核分裂過程」を上映し、共感を呼びました。測定活動だけでなく、「放射能の危険性を知らせる」啓発活動に力を入れていきます。維持会員の皆さまと、ボランティアの皆様の地道な活動に支えられています。

今後ともご支援よろしくお願ひします。

2. 2016年度役員・事務局メンバー紹介

*役員：○西田照子(代表・広報・総務担当)

○相澤武子(会計担当)

○小林恵美(会計監査)

*事務局：○西田照子(代表・広報・総務担当)

○相澤武子(会計担当)

○二宮志郎(測定全般アドバイザー)

○鶴飼暁(IT担当)

○槌谷正勝(名簿担当)

○鈴木映子(イベント担当)

○野副弘毅(イベント担当)

○金子恵子(会計担当)(事務局外)

3. 議長選出

推薦により、秋山良一さんが選出された。

4. 活動報告（西田） 総会資料（1）を参照

5. 決算報告（相澤） 総会資料（2）を参照

6. 監査承認報告（東） 総会資料（3）を参照

7. 質疑応答

*（備品の償却率（金）について）測定器 AT1320A の償却率と線量計の償却率が異なるのは何故か？

*（会計からの答え）測定器の AT1320A は購入年が 2012 年で、線量計は 2013 年なので。

*（質問者） 了解しました。それでよく分かった。

（議長） 2015 年度の活動報告、決算、監査が拍手で承認されました。

8. 2016 年度予算案提案（相澤） 総会資料（4）を参照

9. 2016 年度活動方針提案（鈴木） 総会資料（5）を参照

10. ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）規約（2015. 2. 7 より改定） 総会資料（6）を参照

11. 質疑応答

（事務局 西田）ハカルワカルは原発反対の立場で活動しているが、ある環境団体から平和問題（戦争法）について反対署名を団体として要請された。このような件についての反対署名は団体として署名してよいかどうか皆様のご意見を聞きたい。

（会員からの意見）○個人で反対署名をするのは誠実であるが、大きな力にするには、団体署名も必要だと思う。団体としての反対は大きなエネルギーを生む。

○戦争は最大の環境破壊であり、今回は民主主義、立憲主義の危機ともいえるので、署名に違和感はない。立憲主義、民主主義あつての原発反対運動と思う。

（同様の意見が相次ぐ）

（事務局 西田）では、今後は、原発を超えるものであっても、事務局判断で署名していく。

また、現在八王子で月 1 回行っている“No War 八王子アクション”も原発反対も掲げている集会なので、現在は個人として参加しているが、ハカルワカル広場として、参加してよいだらうか。

（会員からの意見）構わないと思う。違和感はない。（同意見相次ぐ）

〈議長〉 では、会員のご意見を尊重する方向で、事務局判断をしていってほしい。

12. （議長） 2016 年度の活動方針、予算が全員の拍手で承認されました。

13. 議長解任後、閉会挨拶（鈴木）

2016 年度も引き続き測定活動、イベント活動を頑張っていきましょう。

以上で総会を終了いたします。

（書記 金子恵子）

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016 年 2 月 7 日

代表 西田照子

印（省略）

議長 秋山良一

印（省略）

(資料1) 2015年度活動報告(2015.1.1~2015.12.31)

1) 測定活動(網掛けをした部分が2015年度の新規の企画です)

1. 検体415件を測定。その全測定データの公開(ホームページに即日公開)

(参考:2012年度 1280件、2013年度 927件、2014年度 446件)

○公開シート上、インターネット上で測定データのへのコメント。単に機械が出す数値を出すにとどまらないレベルの(スペクトルを含む)データ公開。

2. 定点観測(公園、個人宅など、会員モニターによる)

3. 放射能微量洩れ監視プロジェクト・・・セシウムが凝縮され易い雨どいの下にゼオライトを置き、モニターの協力により、1、2ヶ月に1回測定し、放射能の微量洩れを監視するプロジェクトをスタート、継続中。(モニターは現在15人)

2) 啓発活動

1. 浜岡原発見学ツアーの実施。2015年4月19日、参加者52人(うちスタッフ10人)。バスを貸切り、実施。浜岡原発の案内は現地で反対運動をされている伊藤実、眞佐子夫妻を始め、8人の方々に依頼。通常では見られない原発のすぐそばまで行く見学コースだった。砂丘の上であり、市街地が迫り、危険を実感できた。

2. ハカルワカル映画会の実施

○第9回ハカルワカル映画会 2015.3.7「日本と原発」を北野市民センターにて実施。2回上映。チケット販売数485枚(前売り500円、当日700円)

福島事故を正面からとらえ、その悲惨さを余すことなく伝えた作品だった。

○第10回 ハカルワカル映画会 2015.6.20「被ばく労働の実態を探る」(4編の短編のビデオ) ハカルワカル広場にて2回上映。約40人の参加。参加費無料 特に「サクリファイス」はチェルノブイリ事故の収束に当たったリクビタートルの生涯を描き、原発の残酷さを伝えた作品で、参加者の方から、「悲惨さに言葉を失った」などの感想が寄せられた。

○第11回ハカルワカル映画会 2015.9.26 「イエローケーキ」をハカルワカル広場にて、2回上映。参加費500円。参加者40名 東ドイツ、ナミビア、オーストラリアに取材。「原発は事故を起こさずとも、ウラン採掘の時から被ばくさせる」を実感させる作品。

○第12回ハカルワカル映画会 2015.11.29 「核分裂過程」を北野市民センターにて実施。チケット販売数202枚(前売り800円、当日1000円) 核再処理工場を止めた南ドイツの村人たちの闘いの記録映画だが、日本の現在の状況に酷似し、感銘を呼んだ。映画会後のパネルディスカッションも好評だった。

3. 第5回野外測定体験「ハかってワカろう」実施。2015.10.18.高尾天神社にて。参加者16名(うちスタッフ8名)第2回(2013.11月)と同じ場所で実施したが、線量はわずかに下がっていた。ただ土壤のベクレル値は雨がたまる場所では決して低くなっていなかった。

4. 定例お茶会の実施(担当:二宮他)

原則、毎月第一土曜日に10回実施。前月の測定データの復習(担当:二宮)と、新しい試みとして、テーマとレポーターを決め、テーマごとの学習を深めた。

各定例お茶会のテーマは、

4月…浜岡原発見学ツアーの予習 5月…浜岡原発ツアーの反省会

6月…金八デモ参加者との座談会 7月…デンキエラベル勉強会(後に、お茶会と別の日に設定、担当佐々木)

9月…初期被ばくと甲状腺がん(レポーター西田) 10月…世界の原発について(レポーター鵜飼)

11月…ビデオ「ナミビアのウラン採掘ラッシュ」鑑賞

12月…映画「核分裂過程」に関連し、「再処理工場ストップの歴史的背景」と「抵抗権」の学習（レポーター 西田、佐々木）

5. デンキエラベル勉強会の実施（担当:佐々木）

2016年4月からの電力自由化に向け、継続的にデンキエラベル勉強会を実施した。

関心が非常に高く、資料も豊富なため、多数の参加者があった。

① 7月12日・・・第1回デンキエラベル勉強会「電力自由化ってなんだろう？」

② 9月19日・・・第2回デンキエラベル勉強会

1. パワーシフトキャンペーン

2. ISEP シンポジウム 環境エネルギーの大転換期に未来を構想する。

Youtube 飯田哲也 河合弘之

3. ISEP 自然エネルギー白書2015サマリー版「エネルギーデモクラシーの自大へ」

③12月12日・・・第3回デンキエラベル勉強会 最新の資料配布。参加者29名

6. 子供への再生エネルギー啓発活動（佐々木、仲野担当）

夏休み工作講習会「ソーラーランタン作り」2015.8.25実施。参加者（大人2名、子ども5名）

牛乳パックを使って、思い思いにソーラーランタンを作りました。充電はソーラー（太陽）です。

3) 広報・宣伝活動

1. 会報の発行 年4回維持会員に向けて郵送。測定データの報告と解説。外部からの寄稿、活動報告、「あのととき」（2011年の事故当時の新聞記事）、維持会員の声掲載。（石井、北澤、西田担当）
2. ホームページ（二宮、鶴飼担当）、ボランティアBBS を通して活動を案内、報告。新聞折り込み（映画会の宣伝）、市報、情報紙への映画会の案内掲載など。
3. イベント（映画会、見学ツアー、野外測定会）の実施。（鈴木、野副、槌谷担当）

4) 組織運営

1. 事務局体制による運営（月1回の事務局会議開催）
2. 会計による会計事務（支払い、交通費支給、維持会員更新の案内郵送など）
3. 維持会員、ボランティア拡大活動
（現在ボランティア登録数 55名、実際にシフトに入っている人 28名、維持会員219名 2015.12.31現在）
4. IT（ホームページ、予約・シフトカレンダー）の維持・管理
5. 名簿管理、整理など（担当:槌谷）
6. 手づくりグッズ〈マコロンなど〉、八女茶販売による資金作り

5) 個人活動、他団体・グループへの支援及び交流

1. ふくはち（福島子ども支援八王子）、「まなび・つなぐ広場」の活動を支援、協力、福島からの自主避難の方の健康相談会（主催：ココカラハッピー）への協力
2. 原発反対八王子行動（金八デモ）への協力（HPに情報掲載、電話問い合わせに対応）。
3. 放射線量測定装置（Radilog Walker）、測定器（TC300、TC200、ポリマスター）の貸し出しをし、他団体、市民の測定に協力。

資料(5)

2016年度ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）の活動方針

1. 子どもたちを内部被ばくから守るために、ボランティアによる測定活動を続け、市民生活に役立つことをめざす。
2. 測定の結果をホームページに全て公開し、市民とシェアする。（客観的事実を知らせる）
3. 測定室独自の研究、調査のための測定活動を行う。（魚などの食品の自主測定、公園・山地の土壌測定、微量放射能洩れ監視プロジェクトを協賛者の協力を得て実施）
4. 測定活動のみならず、市民が集う場としての機能を果たす。
5. 原発、放射能の影響、再生エネルギーについての学習の場をめざす。（月1回のお茶会の開催、デンキエラベル勉強会、野外測定会の開催、映画会の開催など。他団体の見学、学習の場にもする）
6. 会報を年4回発行し、測定データ、放射能の知識などの広報活動を行う。
7. 放射能被害の元凶たる原発に反対する活動の拠点をめざす（金八デモ支援）。測定活動によって、原発被害を監視する機能も果たす。
8. 福島支援（「福島子ども支援・八王子」への協力、自主避難の方の健康相談会への協力など）を行う。
9. 他の測定室との連携をはかる。 また測定室立ち上げの協力をを行う。
10. 生産者との連携を図り、また、行政に対し、放射能、原発に関する問題点を指摘し、働きかける。
11. 維持会員、ボランティア、測定依頼者との交流を深める。

八王子市民放射能測定室（ハカルワカル広場）規約 2015/2/7改訂

第1条（名称）この会は「八王子市民放射能測定室」（以下「測定室」という）という。

第2条（所在地）本測定室は、八王子市八幡町5-1-1 八中ビル2Fにおく。

第3条（目的）市民（八王子市民に限らない）、とりわけ子どもたちを放射能の内部・外部被ばくから守るため、食品などの放射能測定を行い、市民と子どもたちの未来を守ることを目的とする。また、測定値は原則として公表し、その結果を市民と共有する。

第4条（事業内容）上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 食品などの放射能測定を行い、原則として公表する。
- ② 会報の発行・学習会の実施・情報の提供などを行う。
- ③ 必要に応じて行政や生産者などへの働きかけを行う。
- ④ その他目的を達するために必要と思われる事業を行う。

第5条（構成員）この会は、上記の目的に賛同する個人会員及び団体会員、および測定ボランティアによって構成される。

第6条（会費）会費の種別を会員・学生会員・団体会員とし、以下の額とする。

- ①会員 年1口6,000円
- ②学生会員 年1口3,000円
- ③団体会員 年1口10,000円

第7条（測定ボランティア）測定ボランティアは測定とその他運営に必要な業務を行う。また随時研修を受講し、正確な測定ができるようにする。

第8条（組織）上記の事業内容の遂行のために、次の組織を置く。

- ① [総会]本測定室の運営にかかわる方針は、年一回開催する総会で決定され、運営委員会に委嘱される。総会の議決は総会出席時の構成員の過半数をもって決定する。
- ② [運営委員会] この会の運営は、会員および測定ボランティアによって構成される運営委員会の協議により進められる。日常的運営のために事務局を置く。

第9条（役員）運営委員会には次の役員を置く。

代表（3名まで） 会計（1名以上） 会計監査（1名）

第10条（規約の変更）必要な規約の変更は総会に諮って変更できる。

第11条（臨時総会）代表の要請により臨時総会を開催できる。

付則1 この規約は2012年1月1日より施行する。

付則2 本改定版は2015年度2月7日より施行する。